



# 第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 予選審査動画撮影要領

## 【動画映像のイメージ】



## 《撮影ルール》

- 平成30年4月1日以降に撮影されたもので、再生時間を3:00分以内の動画とすること。  
※ 提出する動画ファイル自体の長さを3:00分以内とすること。すなわち、演技前の余韻や紹介、演技後の余韻時間等があれば、それらも全て含めて、3:00分以内とすること。  
※ ルールに沿った撮影とするため、予選審査専用撮影が望ましい。
- フルカラーの撮影とすること。(モノクロやセピア色、1色は不可)
- 画面は、横縦比を16:9とすること。(4:3ではない)
- 画面上の演技者の配置や字幕の表示スペース・方法は、上の「動画映像のイメージ」とおりとすること。
- 演技者及び演技者の表情、手話がよく見えるよう演技者の大きさ及び明度を確保すること。
- 演技者の全てセリフや歌詞に対応する字幕を入れること。なお、字幕は一定のタイミングで固定表示とし、演技者に重ならないようにすること。
- 演技者の全身を表示させること。なお、例外的に、動きがなく前後の列となる場合の後列の演技者や着席している場合は、その該当者に限っては少なくとも上半身(腰より上)を表示させることも認めるが、その場合であっても、なるべく全身を表示させるよう務めること。
- 演技者の正面でカメラを固定して撮影すること。演技中、ズームやワイド等の倍率の変更及びカメラを移動させて撮影することは不可とする。
- 予選審査においては、背景による演出は認めない。ただし、演技の構成上、映像や写真等が必要な場合にスクリーン等を使用することは認める。  
(例:観光地の紹介に写真を投影する、パワーポイントの説明をする 等)
- 動画のファイル形式はAVI、MPEG、MP4、WMV のいずれかとし、解像度は720px×480px 以上、1920px×1080px以内とすること。
- フレームレートは、60(59.94)fps又は30(29.97)fpsとすること。  
(30fpsに満たない24fpsや25fpsは認めない)

## 【字幕の補足事項】

- ・字幕は、概ね下から縦1/6以下、横は左右1/8以上を空けたスペースに表示させること。
- ・見やすい大きな文字とすること。
- ・フォントはゴシック体、色は白文字を基本とすること。(ただし、背景が白い場合、枠が黒い白抜き文字か、灰色等の背景と同色ではない見やすい文字色とすること。)
- ・セリフ(歌)のタイミングに対応させた字幕(歌詞)を表示させること。なお、タイミングに合わせるため、字幕が2行となっても構わないこととする。
- ・字幕は停止(固定)表示とし、セリフのタイミングに合わせて、一定時間、表示させること。
- ・演技者に重ならないように字幕を表示させること。

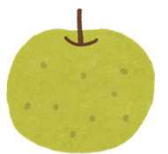


## 《撮影の見本》

- 正面にカメラを固定して撮影してください。（ズームやワイドは不可。）
- 演技者全員の全身を表示させましょう！  
⇒ 舞台上で演技している生徒を、観客席からカメラを通して見ているようなイメージで撮影してください。  
⇒ 特に、動きの中で生徒の足が切れてしまうケースがみられます。演技中は常時、全員の生徒の全身が映るようご注意ください。なお、全身が映るためにどこまでカメラに近づけるか事前に確認し、その限度にラインを引いて、演技中にそのラインを超えないよう指示をして、撮影するようにすればよいでしょう。
- 手話が見やすいようできる限り人物を大きく撮影してください。
- 手話表現は、表情もとても大切な要素です。演技者の表情がよく分かるようにしましょう！  
⇒ 演出上の目的以外で、マスクを着用することはやめましょう！
- 字幕は、演技者に重ならないように表示させてください。



イラストでは白いスペースと  
なっていますが、  
撮影にあたっては、  
（あえて白いスペースを作る必要はなく）  
背景上にそのまま字幕を表示して構いません。



### ✕ 全身を表示させましょう！

悪い例：上半身しか表示されていません！

※ 演技開始から終了まで、常時全員の全身が映るようにしましょう！



## 《動画の提出》

- 制作した予選審査動画は、DVDディスク等の記録媒体に保存して、提出してください。
- 提出期限は、平成30年7月19日(木)です。

撮影方法や字幕の入れ方、その他ご不明な点ありましたら、以下までお気軽にお問合せください！

【問合せ先】大会実行委員会事務局

電話：0857-26-7682

ファクシミリ：0857-26-8136

メールアドレス：s-koushien@pref.tottori.lg.jp

